

令和7年7月18日

長泉町議会議長 下山 和則 様

会 派 名 新 風

会派代表者名 長野 晋治



会派調査研究・研修報告書

このことについて、下記のとおり会派調査研究・研修を実施したので、報告します。

記

調査研究・研修者 氏名	長野 晋治
調査研究・研修 月日	令和7年7月2日(水)～令和7年7月4日(金)
調査研究・研修地 及び事項	(1) 目的地(福岡県北九州市) 日 時 令和7年7月2日 午後1時30分～午後3時00分 内 容 ① 北九州市医療・介護連携プロジェクト ② _____ ③ _____ (2) 目的地(福岡県北九州市) 日 時 令和7年7月3日 午前10時00分～午前11時30分 内 容 ① DX推進計画について ② _____ ③ _____ (3) 目的地(福岡県福岡市) 日 時 令和7年7月4日 午前10時00分～午前11時30分 内 容 ① ソーシャルスタートアップ成長支援事業について ② _____ ③ _____
調査研究・研修地 内容等	別紙のとおり (1) 内容 (2) 現状 (3) 町行政との相違・留意点と、研修成果による提言 (4) 添付資料



視察報告

視察日 令和7年7月2日

視察先 北九州市

研修テーマ 医療・介護連携プロジェクトについて

会派 新風

長野 晋治

1. 内容

医療・介護連携事業「とびうめ@きたきゅう」は、福岡県医師会の運用する「とびうめネット(救急医療システム)」を活用し、県医師会、北九州市医師会、県、市の共同事業として2019年にスタートした。

登録することで病院の受診歴や介護、健康診断などの情報を関係機関が共有し、救急搬送の際などに過去の病歴や服用薬といった重要情報を医療機関が把握できる。迅速で正確な処置が可能となる。現在、参加している医療機関は市内で156か所、市外で81か所に上る。登録者数は25年4月に5万人を突破した。

登録は、病院や特別養護老人ホーム、市民センター、区役所などで申請が出せる。

登録は市民であれば誰でもでき、受診歴などの閲覧情報の対象は国民健康保険、後期高齢者医療制度などの加入者だが、社会保険加入者でも登録することで緊急連絡先が共有される利点がある。

2. 視察研修を踏まえた町への提言

個人情報保護法は個人を守るためにある。

救急搬送時の緊急連絡先や病歴等、また、入退院の情報等、本人を守るための有益な情報は、当市のようにネットワークシステムで必要な部署が共有することが重要で、当町においても取り組みが必要だと考える。

ただ、国の全国医療情報連携プラットフォームが26年から開始される予定であり、その内容をしっかり把握したうえで対応する必要がある。

当市は、福岡県国民健康保険団体連合会からレセプト情報が北九州市役所を経由して福岡県医師会(とびうめネット事務局)に上がるシステムになっているため、社会保険の対象者はレセプト情報等は空白となる。

国のシステムがどこまで網羅するのか、医療機関の入力・更新作業が必要となるか等見極めたうえで当町の方針を検討すべきである。